

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

(第 5 号)

1 平成2年9月26日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1番 脇田 安保	2番 永井 龍平
3番 田沢 勝信	4番 庄司二三男
5番 岩村 勝弘	6番 山崎 雅己
7番 生稲 陞	8番 鈴木 勝美
9番 山口 康雄	10番 鈴木 忠夫
11番 神田 守隆	12番 榎本 春光
13番 山中金治郎	14番 小宮 利夫
15番 横溝 功	16番 石井 昌治
17番 石井 謀	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	21番 辻田 実
22番 黒川 平治	23番 流山源次郎
25番 渡辺 昭夫	26番 近藤 好雄
27番 林 豊	28番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

20番 福原 勤

1 出席説明員

市長 半澤 良一	助役 小幡 清之
収入役 渡辺 弘	市長公室長 錦織 茂
総務部長 二通 英雄	民生部長 佐藤 澄雄
経済部長 安西 良一	水道課長 鈴木 信一
教育委員会会長 正木 高嗣	教育委員会 福原 修
選挙管理委員会会長 加藤 利	選挙管理委員会 庄司 徹
監査事務局 熊坂 桂一	事務局書記長
農業委員会会長 岩城 昭	農業委員会会長 斎藤 明

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第5号）

平成2年9月26日午前10時開議

日程第1 議案第37号 館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

日程第2 議案第38号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）

日程第3 閉会中の継続審査について

日程第4 { 認定第 1号 平成元年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第 2号 平成元年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 3号 平成元年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 4号 平成元年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 5号 平成元年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第 6号 平成元年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
認定第 7号 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

日程第5 議案第39号 人権擁護委員候補者の推薦について

日程第6 議案第40号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第7 各常任委員会所管事務の閉会中の継続調査について

開 議 午前10時07分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数26名、これより第3回市議会定例会第5日目の会議を開きます。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） 議案を配付いたします。

議案の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、議案第37号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました議案第37号は、9月17日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長山口康雄君。御登壇願います。

（建設経済委員会委員長山口康雄君登壇）

◎建設経済委員会委員長（山口康雄君） ただいま議題となりました議案第37号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてにかかわる建設経済委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月17日開会の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、9月19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。以下、その質疑応答等主なものについて申し上げます。

今回、宿泊利用料の改正をするものでありますが、利用料金について他の国民宿舎と比べてどうか、また周辺の民宿との兼ね合いはどうか質問しまし

たところ、県内の利用料金は基本的には統一されており、全国的に見ても国から示された料金で統一されている。周辺の民宿との比較では、同じかやや民宿の方が上回っているのではないかと説明がありました。

次に、誘客についてどのように行っているか質問しましたところ、60歳以上の市民に対しての割引制度を61年度から行っている。誘客の方法について、特に国や県で制限されることなく独自に企業努力で行えることになっており、鳩山荘においても東京の予約センター、交通公社、観光案内所、県職の互助会等の団体に呼びかけるなどPRを行っているとの説明がありました。

なお、職員体制については、通常、職員10名、パート8名で行っており、夏の期間のピーク時にはアルバイトを雇っているとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第37号館山市国民宿舎利用料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、建設経済委員会委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長(渡辺昭夫君) 日程第2、議案第38号平成2年度館山市一般会計補正予算(第1号)を議題といたします。

総務委員会委員長報告

◎議長(渡辺昭夫君) ただいま議題となりました議案第38号は、9月17日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより本案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長辻田 実君。御登壇願います。

(総務委員会委員長辻田 実君登壇)

◎総務委員会委員長(辻田 実君) ただいま議題となりました議案第38号平成2年度館山市一般会計補正予算(第1号)にかかわる総務委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る9月17日開会の本会議におきまして本委員会に付託されました本議案につきまして、9月19日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。以下、その質疑応答等主なものについて申し上げます。

まず、商工費中、インダストリアルパーク基本計画策定業務委託料 820万円が計上されておりますが、このインダストリアルパークについては、約50ヘクタールの地域に林間工業団地的なものを考えており、現段階で県の次期5カ年計画に中核工業団地として位置づけられているもので、水、道路等の整備がなされる平成7年に一部オープンに持っていきたい。なお、この基本計画の策定により、業種、土地利用等について明らかにしていくとの説明がありました。

次に、市が基本計画の策定業務を行うことについて、事業の熟度を高める

ため、また地元の合意、地権者の同意を得るために、基本計画でおおよその内容を明らかにしたい。地元の合意が得られた時点で初めて県が事業化に踏み切るもので、市としては地元対策、土地の買収等の事務を行っていくとの説明がございました。

さらに、地元の意見をどのように反映させるのかとの指摘に対しまして、地元の意見を調整するために計画策定の調査委員会を編成していく。委員については、稲、宝貝地区から2名ずつを考えているとの説明がございました。

なお、この事業は地元の人たちの連携がないと難しい。この地区は農業に従事する人が多く、第1次産業、特に農業振興とかかわりのある企業の誘致を考えられないかとの意見がありました。

次に、同じく商工費中、リゾート文化醸成調査事業負担金 120万円が計上されておりますが、この内容については、県が房総リゾート地域整備基本構想に基づいて重点整備地区ごとに補助事業を行うもので、館山サンシャインリゾート、南房フラワーパークリゾート推進協議会が事業主体となる。リゾートのまちづくりを推進するに当たって、地域の文化資源の現状把握、文化の育成、活用方策を調査、策定してリゾート振興に役立てていこうとするものでありますとの説明がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第38号平成2年度館山市一般会計補正予算（第1号）については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。よろしくお願いいたします。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。
よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案についての委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

閉会中の継続審査について

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、閉会中の継続審査についてお諮りいたします。

建設経済委員会に付託中の請願第28号リゾートマンション建設の規制強化に関する意見書提出を求める請願書については、慎重審査の必要上、引き続き閉会中も継続して審査したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。請願第28号を委員会からの申し出のとおり閉会中の継続審査とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、請願第28号は閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） なお、この際申し上げます。

各常任委員会における陳情審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第4、認定第1号乃至認定第7号平成元年度館山市一般会計及び特別会計決算を一括して議題といたします。

決算審査特別委員会委員長報告

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました各会計決算は、ともに9月18日の本会議において特別委員会を設置し、付託されたものであります。

よって、これより本決算に対する決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員会委員長石井 謀君。御登壇願います。

（決算審査特別委員会委員長石井 謀君登壇）

◎決算審査特別委員会委員長（石井 謀君） ただいま議題となりました認定第1号乃至認定第7号平成元年度館山市一般会計及び特別会計決算にかかわる決算審査特別委員会における審査の経過並びに結果について御報告を申し上げます。

去る18日の本会議におきまして本委員会に付託されました各決算につきまして、20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。審査に当たっては、提出された説明資料に基づいて市当局の考えをただし、あるいは処理状況の報告を求め、さらに今後改善すべき点、検討を要する事項を指摘、要望しつつ審査を行った次第であります。以下、委員会におきます質疑応答等整理いたしまして、論議されました主な点につきまして御報告を申し上げます。

まず、総務費中、防災対策費に関連して、本市の自主防災組織について説明を求めましたところ、平成元年12月現在92.9%の組織率になっており、県下の平均は26.8%、全国平均では37.1%で、本市は県下一の組織率であるとの説明がありました。

さらに、毎年市内各地域で行っている合同防災訓練について、昨年度の豊房地区で全地区を終了したが、今後も同じように地区を単位とした訓練は必要であり、今までどおり順次行っていくとの考えが示されました。今後2巡目となるので、訓練の方法等を十分研究され、訓練の効果を上げられたいとの要望がありました。

次に、諸費において市制施行50周年記念国際民族音楽フェスティバルに対する負担金として 1,060万円の支出がされておりますが、このフェスティバルの収支について説明を求めましたところ、支出においてコンサート関係費 1,429万 5,000円、運営関係費 230万円、広報関係費 238万円、実行委員会関係費 199万九千余円で、合計 2,097万二千余円、収入において市の負担金 1,060万円、入場料 647万一千余円、協賛金 507万円、雑収入 9万九千余円で、合計 2,224万余円となり、126万七千余円の残が生じ、平成2年度へと引き継いだとの説明がありました。

次に、民生費において重度障害者等福祉手当が支出されておりますが、手当の内容について説明を求めましたところ、身体障害者手帳の保持者 — 1級、2級の者で月額特別障害者手当 2万 2,760円、障害児福祉手当 1万 2,100円、経過的措置分としての福祉手当 1万 2,380円となっており、併給はできないとの説明がありました。

さらに、障害者に対する固定資産税の減免はできないかとの意見に対し、固定資産を有している手帳保持者 597名、そのうちひとり暮らしの重度障害者で固定資産を持っている者は23名いるが、生活保護法による生活扶助を受けていない者は担税力があると判断されるので、地方税法に照らして該当にならないとの説明がありました。

次に、衛生費であります。保健衛生費中の予防費において、各種検診が市内全地域において実施されているとの報告がされておりますが、検診に当たっては今後さらにその方法等について医師会等とも研究され、検診の効果を上げていただきたいとの要望がありました。

次に、家庭用小型合併処理浄化槽施設設置事業に対する補助金が支出されておりますが、まずその普及について、昭和63年度28基、平成元年度14基と減少しているとの説明がありました。河川、海の浄化という観点からは、今後施設費に対する補助だけではなく、維持管理費についても補助を考えられないかとの意見がありました。

次に、農林水産業費中、水産業振興費における多目的施設設置事業補助金、養殖施設設置事業補助金の補助目的、事業内容について説明を求めましたと

ころ、多目的施設については、乗組員の休憩室、食堂、販売所、浴室、冷蔵庫、娯楽室、談話室等を設置することにより外来漁船の水揚げをふやし、さらに地元住民に安い魚介類を提供しようという目的のもとに建設されたものであり、養殖施設についてはヒラメの陸上養殖施設に対する補助事業であるとの説明がなされ、委員よりこれらの施設がより効果的に運営され、施設の設置の目的が十分達成されるよう要望するとの意見がありました。

なお、本事業については東京湾漁業振興対策事業の一環であり、従来予算書には具体的に事業種目を掲げてきたが、国の補助事業にも同一の事業種目が出てきたため、紛らわしいので平成2年度から名称を東京湾漁業振興対策事業補助金と改めているとの説明がありました。

次に、商工費に関連いたしまして、先般報道された土地取引に関する国土利用計画法違反の件について概略の説明を受けるとともに、取引についてチェックはできないものかたまたましたところ、5,000平米以上の場合に県に届け出義務があるもので、市町村を経由することになっている。違反かどうかのチェックについては、市では所有権の移転があった際に法務局から報告を受け、それに基づいて行っているとの説明がありました。

さらに、このゴルフ場計画については事前許可をとっていたと聞くが、その後の経過について説明を求めましたところ、昭和51年に事前協議書の同意がされているが、その後県の暫定凍結の措置が行われ、今日に至っている。今回事業再開の表明があったことから県から市に照会があり、市において地域住民と協議した結果、社会情勢の変化から開発は待つてほしいとのことであり、開発する場合には再度協議するようにということで県に回答をしているとの説明がありました。

次に、土木費であります、城山公園の整備拡充の中で日本庭園や茶室の建設がなされており、その利用状況については、本年4月から件数21件、411人、平均月3件乃至4件であるとの説明がありましたが、さらにこれだけの施設で月3～4件の利用は少ないので、積極的なPRに努めるとともに、民間委託を含めた運営方法や、また山頂であるので、利用者の利便を図る方法を検討すべきであるとの意見がありました。

次に、消防費中、安房郡市広域市町村圏事務組合消防費負担金として3億7,000万円が支出されていますが、広域圏で行う場合と市が独自に行う場合の負担の比率について説明を求めましたところ、特に数字を出していないが、消防力の基準ということからは機械装備費関係は約88%に、職員数についても約170名が現有では79名になっているとの説明がありました。

次に、教育費であります、学童保育の問題について質疑がありました。小学校1年から3年生を対象とした調査結果によると、放課後保育に欠ける児童は合計262名であり、そのうち親戚の家で過ごす、親の知人の家で過ごす、保育園で過ごすという者がほとんどであるが、そのほかに友達の家で過ごす、外で友人と遊んでいる、子供だけで自宅で過ごすというのが63件あり、この3点についてはさらに調査を進めたいとの説明がありました。さらに、厚生省でも来年度の概算要求の中で、保育所の定数割れの問題から学童保育を実施していきたいという方向を打ち出しているようでもあり、働く婦人の援護、児童福祉の観点から、学童保育についてぜひ検討願いたいとの意見がありました。

次に、保健体育費について、50メートルプール観覧席改修工事請負費が支出され、これについては危険箇所の改修をしたものであるとの説明がありました。さらに、設備もかなり老朽化していることから、50メートルプールについてどう考えるかただしましたところ、県南唯一の50メートルプールであり、貴重な施設と考えている。スイミングスクール、高校、大学の合宿にも利用されているとの説明がありましたが、今後県南唯一のものであること、また古い歴史を持つ施設であるので、その整備について十分検討されるよう要望いたしました。

次に、歳入であります、市民税の不納欠損、収入未済の状況について詳細に説明を求めました。特に、不納欠損については、法人市民税については10件で、そのうち時効によるもの9法人、執行停止によるもの1法人で、計1,700万余円、個人市民税については623件、そのうち時効によるもの590件、執行停止によるもの33件であるとの説明がありました。なお、特別土地保有税については、滞納の場合、当該土地を差し押さえており、不納欠損に

は立ち至らないとの説明がありました。

次に、国民健康保険特別会計であります。国保会計の現状をどのように考えるかとの質問に対しまして、医療保険制度の一本化を図ることが最大の課題であるとする。徐々に一本化の方向に向かいつつあり、それが実現するまでが自治体に課せられた問題である。一般会計からの持ち出しはやむを得ないが、ルールなしに出しては歯どめがきかない。一本化するまで一定のルールを決めて出していかなければならないとの考えが示されました。

次に、討論を行い、一般会計、水道事業特別会計、国民宿舎事業特別会計については消費税絡みの決算となっており、消費税に反対する立場から認定に反対するとの意見がありました。

採決の結果、認定第1号一般会計決算、認定第6号水道事業特別会計決算及び認定第7号国民宿舎事業特別会計決算については賛成多数をもって、認定第2号乃至認定第5号の国民健康保険特別会計決算、老人保健特別会計決算、ユースホステル特別会計決算、学童災害共済事業特別会計決算については全員一致をもってそれぞれ認定すべきものと決しました。

以上、決算審査特別委員会におきます審査の概要を御報告申し上げまして委員長報告を終わります。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。

— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、認定第1号一般会計決算について起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、認定第1号一般会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第2号国民健康保険特別会計決算、認定第3号老人保健特別会計決算、認定第4号ユースホステル特別会計決算、認定第5号学童災害共済事業特別会計決算について一括して採決いたします。

各会計決算についての委員長の報告は認定であります。

各会計決算を委員長の報告どおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、認定第2号乃至認定第5号の各特別会計決算はいずれも認定することに決しました。

次いで、認定第6号水道事業特別会計決算について起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、認定第6号水道事業特別会計決算は認定することに決しました。

次いで、認定第7号国民宿舎事業特別会計決算について起立により採決いたします。

本決算についての委員長の報告は認定であります。

本決算を委員長の報告どおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（渡辺昭夫君） 起立多数であります。よって、認定第7号国民宿舎

事業特別会計決算は認定することに決しました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第5、議案第39号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第39号人権擁護委員候補者の推薦について提案理由の説明を申し上げます。

10月14日をもって任期満了となります人権擁護委員3名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、引き続き島野茂樹郎さん、蜂谷達二さん、新たに島田牧子さんを最適任者といたしまして御推薦申し上げたいと存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第6、議案第40号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（渡辺昭夫君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（渡辺昭夫君） 議案の説明を求めます。

市長。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第40号館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について提案理由を御説明申し上げます。

館山市固定資産評価審査委員会委員中、秋丸清彦さんが10月5日をもって任期が満了いたしますので、引き続き秋丸清彦さんを適任と考え選任いたしたく存じます。

御賛同賜りますようお願い申し上げます。

◎議長（渡辺昭夫君） 説明は終わりました。

質 疑 応 答

◎議長（渡辺昭夫君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本案については委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎議長（渡辺昭夫君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（渡辺昭夫君） これより採決いたします。

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同

意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件は、これに同意することに決しました。

各常任委員会所管事務の閉会中の継続調査について

◎議長(渡辺昭夫君) 日程第7、各常任委員会所管事務の閉会中の継続調査についてお諮りいたします。

各常任委員会において、お手元に配付の所管事務の閉会中継続調査申出一覧表のとおり、閉会中も継続して調査したいとの申し出がありました。

お諮りいたします。各委員会から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(渡辺昭夫君) 御異議なしと認めます。よって、各委員会から申し出のとおり閉会中の継続調査とすることに決しました。

閉 会 午前10時48分

◎議長(渡辺昭夫君) 以上で本定例会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第3回市議会定例会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第37号乃至議案第40号
- 1 認定第1号乃至認定第7号
- 1 継続審査について(請願第28号)
- 1 各常任委員会所管事務の閉会中の継続調査について

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長

館山市議会議員

館山市議会議員